

題字は寺井高等学校
3年 松下 絢香さんの作品です

県議会会だより いしかわ

第21号

石川県のシンボルの一つ金沢城公園。
4月に「鶴の丸休憩館」が完成し、さらに魅力が高まっています

今号の
トピックス

- 県議会ダイジェスト Vol.3
- 「石川県スポーツ推進条例」が施行

県議会ダイジェスト

Vol.3

3月17日に就任した米澤賢司議長と山口彦衛副議長のあいさつと3期以上の議員10人が行った質疑の一部を掲載します。

ごあいさつ

石川県議会議長(第99代)

よねざわ けんじ
米澤 賢司

豊かな自然や文化、温かな人情が根付いたこのふるさと石川を守り、育て、未来へ引き継いでいくために、県議会の代表者として議会の円滑な運営に努めますとともに、誠心誠意全力で県勢の発展に取り組んでまいります。



石川県議会副議長(110人目)

やまぐち ひこえ
山口 彦衛

議長をしっかりとお支えし、議会の円滑な運営に努めるとともに、すべての県民の皆様が安心して暮らし続けることができる石川づくりに精一杯取り組んでまいります。皆様のご指導とご協力を心からお願い申し上げます。



吉田 修

よしだ おさむ

3期 未来石川

がん対策の推進について

Q がんの治療と仕事の両立について、今後どのように支援するのか。

A がん診療連携拠点病院等に社会保険労務士を配置するなど、相談体制の充実に努めてきた。平成29年度は「がんになった従業員に対する就労支援の手引」を作成し、事業者向けの研修会で活用したい。

Q ドジョウの増産に向けた取り組みを聞く。

A 平成29年度より、稚魚の生産を希望する養殖業者に採卵用の親ドジョウを提供し、稚魚生産技術の指導に取り組むとともに、エサの改善や飼育技術向上のための研修会を開催することにより、生産量の増大につなげる。



谷内 律夫

やち りつお

3期 公明党

ドクターヘリの導入について

Q ドクターヘリの運航開始時期はいつ頃か。ヘリ導入への思いと併せて聞く。

A 医師確保のめどが立ったため、ドクターヘリを導入し県民の安全・安心をさらに充実強化したい。今後は、運航業者を決定し、出勤基準の設定などを行う必要があるため、運航開始は平成30年の秋ごろになると見込んでいる。

Q 災害ボランティアコーディネーターの育成・確保に向けた取り組みを聞く。

A これまでに能登半島地震で活動した約250名の2倍となるおよそ500名を養成した。養成研修修了者を対象として、より実践的な研修会を開催するなど、フォローアップにも毎年取り組んでいる。



西田 昭二

にしだ しょうじ

3期 自由民主党

七尾外環状道路の事業着手について

Q 七尾外環状道路について今後どのように事業を進めていくのか。

A 古府町から大田町間について、古府町から万行町までを県事業とし、残る大田町までの区間は七尾市事業として、平成29年度から同時に整備を進める。今後、七尾市と一体となって全力で取り組む。

Q いしかわ結婚支援センター内のみ設置されている「婚カフェいしかわ」を能登や加賀にも設置できないか。

A センターは電話やメールのほか、来所による個別相談にしている。今後、能登や加賀の若者の希望に応じて出張相談などができないか、検討していきたい。



作野 広昭

さくの ひろあき

4期 自由民主党

白山総合車両所の活用について

Q 白山総合車両所を新幹線技術の発信基地にする動きがあるが、県の姿勢、今後の対応を聞く。

A 自民党においてプロジェクトチームを設置し、活用策を検討すると聞いているが、主体はあくまで地元市町であることから、県として協力できる部分については協力していく。

Q 県として、新幹線の博物館を作って過去の新幹線を全部もってくるなど、本県の観光資源の目玉となるよう、白山総合車両所の活用に積極的に取り組むべき。

A 意見があったことは地元市町とも共有し、今後検討が進められる中で、県としてできる協力はしていく。



盛本 芳久

もりもと よしひさ

4期 未来石川

教員の勤務環境改善について

Q 教員の時間外勤務の実態について認識を聞く。

A 学校現場は日々の学習指導に加え、いじめや不登校など様々な教育課題を抱えており、真摯に対応した結果、勤務時間が長くなっている。各学校では、必要に応じて業務分担の見直しや校内会議の削減など業務改善に取り組んでいる。

Q 障害者施設において殺傷事件のようなことが起こらないよう、障害を理由とした差別の解消に向けた更なる取り組みが必要ではないか。

A 障害者差別解消法の施行も契機として、障害を理由とした差別や偏見のない社会づくりが極めて重要であることを、しっかりと周知していきたい。



宮下 正博

みやした まさひろ

4期 自由民主党

能登牛の品質向上と増産について

Q 能登牛のさらなる品質向上と増産体制の整備について聞く。

A 畜産試験場や専門家がエサの内容や飼育環境等について技術指導し、さらなる品質向上を図る。今秋に能登牛繁殖センターを開所するほか、若手就業者確保に努め、年間1,000頭体制を目指す。

Q 子供たちを対象とした土砂災害に対する防災教育が重要と考えるが、小学校への出前講座の実施状況を聞く。

A 土砂災害警戒区域付近にある小学校93校を対象として、これまで延べ50校で実施しており、今年度は15校で実施する。子供からは砂防工事に興味があったとの声もあり、引き続き実施していきたい。



吉田 修

よしだ おさむ

3期 未来石川

がん対策の推進について

Q がんの治療と仕事の両立について、今後どのように支援するのか。

A がん診療連携拠点病院等に社会保険労務士を配置するなど、相談体制の充実に努めてきた。平成29年度は「がんになった従業員に対する就労支援の手引」を作成し、事業者向けの研修会で活用したい。

Q ドジョウの増産に向けた取り組みを聞く。

A 平成29年度より、稚魚の生産を希望する養殖業者に採卵用の親ドジョウを提供し、稚魚生産技術の指導に取り組むとともに、エサの改善や飼育技術向上のための研修会を開催することにより、生産量の増大につなげる。



谷内 律夫

やち りつお

3期 公明党

ドクターヘリの導入について

Q ドクターヘリの運航開始時期はいつ頃か。ヘリ導入への思いと併せて聞く。

A 医師確保のめどが立ったため、ドクターヘリを導入し県民の安全・安心をさらに充実強化したい。今後は、運航業者を決定し、出勤基準の設定などを行う必要があるため、運航開始は平成30年の秋ごろになると見込んでいる。

Q 災害ボランティアコーディネーターの育成・確保に向けた取り組みを聞く。

A これまでに能登半島地震で活動した約250名の2倍となるおよそ500名を養成した。養成研修修了者を対象として、より実践的な研修会を開催するなど、フォローアップにも毎年取り組んでいる。



米田 昭夫

よねだ あきお

4期 自由民主党

河北潟干拓地の交流人口増加について

Q 河北潟干拓地をどのようにPRしているのか。休憩・体験施設の整備に対する考えと併せて聞く。

A 河北潟ひまわり村や河北潟ふれあいフェスタに対する支援や、直売所の情報発信等を行っている。休憩・体験施設については、まずは、関係する市町で議論を深めていただくことが大事だと考えている。

Q 県はサイバー攻撃への実践的な対処能力向上にどのように取り組んでいるのか。

A 国が官公庁などを対象に、いしかわサイエンスパークで実施している実践的なサイバー防御演習に毎年職員を参加させて、対処能力向上を図っている。



中村 勲

なかむら いさお

5期 自由民主党

新幹線時代の意識改革について

Q 開業効果の持続には、歴史、伝統、文化などに厚みを加えるような考え方が大切であるが、所見を聞く。

A 質の高い文化や豊かな自然など本県の個性とも言える多くの財産を有していることから、さらに磨きをかけ発信していきたい。

Q がん医療における県立中央病院の果たすべき役割及び新病院におけるがん医療の充実について聞く。

A 県立中央病院は、地域がん診療連携拠点病院として、高度で専門的ながん治療を実施するとともに、医療関係者を対象にがん医療に関する研修会を開催するなど、中核的な役割を果たしている。新病院では、手術室の増設や外来化学療法室の拡充など機能を一層充実する。



吉崎 吉規

よしさき よしのり

6期 自由民主党

北陸新幹線 敦賀以西の整備について

Q 北海道新幹線札幌開業までに北陸新幹線が全線開業する可能性と、敦賀以西の早期着工・完成に向けた取り組みを聞く。

A ルート決定前倒しの意向が示されたことは大きな前進であり、今後とも沿線地域と連携を密にして、国等に対してフル規格による早期全線整備を強く働きかけていきたい。

Q 救急医の確保に知恵を絞り、新県立中央病院へのドクターヘリの導入を検討すべきではないか。

A ドクターヘリの導入に際し、これまで課題とされてきた医師の確保にめどが立ったことを踏まえ、新県立中央病院に導入する具体の検討を行っていきたい。



下沢 佳充

しもざわ よしたか

6期 自由民主党

金沢港を核とした駅西地区の整備について

Q 金沢駅の西側を金沢港を核とした近代的な交流ゾーンとして位置づけて、整備計画を練ってはどうか。

A 金沢港を取り巻く急激な環境変化を踏まえて金沢港機能強化整備計画を策定し、新たな待合施設の整備やコンテナ上屋の集約など、平成31年度末までの完成を目指して整備する。

Q 本県ゆかりのトップアスリートスポーツ大使として任命し、地方創生の起爆剤として活用するべきではないか。

A スポーツ大使の委嘱については、平成29年度からスタートする県民文化スポーツ部において、必要性や役割についても議論していきたい。





健康づくりや子どもの成長、 地域の活力につなげよう!

「石川県スポーツ推進条例」が施行

県議会では昨秋以降、スポーツ推進にかかる条例の制定に向けて議論を重ね、今春にはパブリックコメントにより県民の皆さまからのご意見もいただき、6月県議会定例会において、「石川県スポーツ推進条例」を全会一致で可決しました。

本条例では、国のスポーツ基本法の趣旨も踏まえ、スポーツを通じて県民の心身の健康や体力の保持増進を図ることなどを基本理念に掲げ、県の責務や県民・事業者・スポーツ団体の役割や、これら相互の連携をより深めていくことを明確にしています。

また、スポーツに関する施策に総合的に取り組むための推進計画の策定も規定し、年齢や性別に関係なく、スポーツ活動への参加を

促進したり、競技水準の向上に向けた取り組みの充実を図ったりするほか、国際大会も開催できるスポーツ施設の整備にも努めるなど、スポーツを「する」という観点だけでなく、「観る」こと、さらには指導者や支援者としてスポーツを「支える」ことなどもスポーツ活動として捉え、多岐にわたる取り組みを推進することとしています。

2020年には、東京オリンピック・パラリンピック大会も控えており、スポーツが持つ可能性に大きな注目が集まっています。県議会でも、本条例の制定を新たなきっかけとし、スポーツを通じた健康の維持・増進や子どもの健全な育成、地域社会の活性化、産業の振興などに、より積極的に取り組んでいきたいと考えています。

県議会の活動を伝える広報紙

県議会
第21号 **だより**

編集・発行 / 石川県議会 (年4回発行)
平成29年7月11日発行

県議会の傍聴や見学ができます!

●お問い合わせ 石川県議会事務局企画調査課

〒920-8580 金沢市鞍月1丁目1番地
TEL 076(225)1036 FAX 076(225)1037

ホームページ <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/gikai/>

石川県議会

検索



県議会に対する
ご意見・ご提言を
お寄せください。

県議会では、県民の声を取り入れた運営に力を注いでいます。ご意見やご提言は、下記のE-mailからもお送りいただけます。ぜひ皆さまの思いを、県議会にお伝え願います。



メールアドレス

gikai@pref.ishikawa.lg.jp